

# 「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第101号 2016年2月

かぜ  
風邪ひいてない？

寒い！めっちゃ寒い！風邪ひいていませんか？風邪をひかないためには、外から帰った  
ら手洗いうがい、バランスのよい食事、よく寝ること。ひいてしまったら、あたたかくし  
て、とにかくよく休むこと。今月のテーマは、「風邪ひいてない？」です。

最初は、「エイモスさんがかぜをひくと」です。動物園で働くエイモスさんは、おともだちの動物たち  
と過ごす時間をとても大切にしていました。ある日、エイモスさんが、風邪で動物園を休むと、エイモ  
スさんを待っていた動物たちは、気になってしかたがなくなり、おみまいに出かけます。

次は、「まじょがかぜをひいたらね」です。まじょがかぜをひいたらね、まず病院に行きません！だ  
ってその病院は、「ようかい病院」だから、行けません！おうちで治します。それでも治らなかったら、  
とっておきの治し方を試してみます。それは…。

最後は、「オバケだって、カゼをひく！」です。鬼灯医院は、今ぼくたちが住んでいる世界とは、ちょ  
っとべつ所<sup>ところ</sup>にたっていて、だれもが、そこへ行けるってわけじゃない。世界にたったひとりの  
オバケ科<sup>か</sup>の名医、鬼灯京十郎先生とぼくが、なぜ、会うことになったかということ…？



エイモスさんがかぜをひくと  
ステッド 文  
青山 南 訳  
光村教育図書

まじょがかぜをひいたらね  
高島 じゅん子 作  
高島 純 絵  
理論社

オバケだって、カゼをひく！  
富安 陽子 作  
小松 良佳 絵  
ポプラ社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっしゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ  
巡回学級文庫通信 第102号 2016年3月

## バスにのって

すこ すこ 少ずつ少ずつあたたかくなってきました。もうすぐ春です。寒くてカチンカチンに  
なっていた からだ を、うーんと伸ばして、あたらしい季節にそなえましょう。どこかに行きたい  
なあ、と思ったら、バスにのって出かけましょう。小さな冒険のはじまりです。今月  
のテーマは、「バスにのって」です。

さいしょは、「やまのバス」です。おくやまゆきのバスは、どこかさびしそうでした。むりはありません。  
あしたからバスはなくなります。でも「乗ってみたかったなあ」と思っているお客さんはたくさんいま  
した。それは…。

つぎは、「どこかいきのバス」です。おかあさんとけんかをしてうちを飛び出したぼくのまえに、「どこか」  
いきのバスがあらわれた。乗り込んで、行きたい場所を言ってみると、たちまちバスの形が変わって…。

さいごは、「ばすくん」です。ばすくんは路線バス。もう長いこと働いてきたのでくたびれています。そ  
れでもいっしょうけんめい働いてるのです。ところがある日、新型バスが入ってきて、ばすくんは山奥  
のバス会社に売りに出されてしまいます…。くじけるな、ばすくん！



やまのバス  
内田 麟太郎 文  
村田 エミコ 画  
佼成出版社



どこかいきのバス  
井上 よう子 作  
くずはら 順子 絵  
文研出版



ばすくん  
みゆき りか 作  
なかや みわ 絵  
教育画劇

# 「おまめちゃん」

じゅんかいががきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ  
巡回学級文庫通信 第103号 2016年5月

## ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

かなんちょうりつちゅうおうこうみんかんとしよしつ ししよ としよしつ ほん なか よ  
河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

おも と あ こんげつ  
思うものを取り上げていきます。今月のテーマは「おてつだい」です。

さいしよは、「たっくんの おてつだい」です。たっくんの家には、もうすぐ赤ちゃんが生まれます。お父さんが、お母さんを手伝ってあげよう、と言ったので、たっくんと妹のももちゃんはお布団をたたんだり、洗たく物を干したりします。でも、なかなか上手にできなくて・・・。

つぎは、「わたしおてつだいねこ」です。お婆さんは朝から犬いそがし。「ねこの手も借りたいぐらい」と言ったら、本当にねこがやってきました。ねこはおせんたくでもなんでもできます、と言ったので、お婆さんはやとうことにしました。ところが、このお手伝いねこさん、何をやっても失敗ばかり・・・。

さいごは、「あっちゃんのはたけ」です。野菜がきれいなあっちゃん。どうすれば野菜を好きになれるかしら？そう考えたお婆あちゃんから畑の手伝いをたのまれても「野菜はきれいだから、お手伝いしない」。ところが、そんなあっちゃんが野菜大好きになったわけ・・・。



たっくんの おてつだい  
おおさわ さとこ 作

アリス館



わたしおてつだいねこ

竹下 文子 作  
鈴木 まもる 絵

金の星社



あっちゃんのはたけ

大西 ひろみ 作・絵

ひさかたチャイルド

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 104号 2016年6月  
巡回学級文庫通信 第104号 2016年6月

がつ か むしばよぼう ひ  
6月4日は虫歯予防の日!

がつ か むしばよぼう ひ むしば ひ た  
6月4日は、虫歯予防の日です。虫歯の日ではありませんよ。おいしく食べるためには、

まいにち こころ たいせつ は  
毎日の心がけが大切。しっかりかんで、ていねいに歯みがきをしましょう。キーン、ガリ

ガリという、歯医者さんのおと き こんげつ は  
ガリという、歯医者さんの音、できれば聞きたくないもんね。今月のテーマは「歯」です。

さいしょ は、「わにさんどきっはいしゃさんどきっ」です。わにさんが、いやいやながらむしばをなおしに歯  
医者さんに行きました。歯医者さんは、こわごわなおしはじめました。そして、さて、どのようなこと  
になりましたやら!?

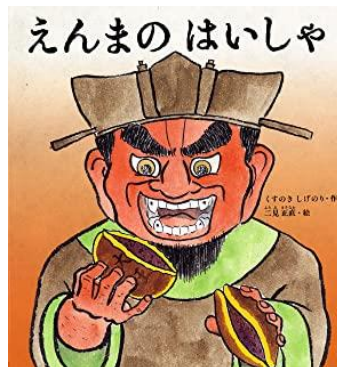
つぎ は「えんまのはいしゃ」です。じごくの入り口で、むしばをいかげんになおしていた歯医者さんは、  
えんまさまにせめ立てられます。この歯医者さん、なんとかじごくに送られないようにと考えて、えん  
まさまたちの虫歯をなおそうとします。

さいご は、「はみがきクイーン」です。小学3年生のりんかは、歯みがきがきれいな女の子。ある日、  
歯みがきしようとしたら、歯みがきクイーンと歯ブラシねこが現れた。願いをかなえてくれるというけ  
れど、クイーン様は、気が短くて、負けずぎらい…。



わにさんどきっ  
はいしゃさんどきっ  
五味 太郎 作

偕成社



えんまのはいしゃ  
くすのきしげのり 作  
二見 正直 絵

偕成社



はみがきクイーン  
令女 ヒロ子 作  
姫川 明 絵

講談社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがらきゅうぶんこつうしん だい 105号 2016年7月  
巡回学級文庫通信 第105号 2016年7月

うみ  
海

夏が来ると、海に行きたくなります。泳いだり、魚を釣ったり。浜辺に打ち上げられた

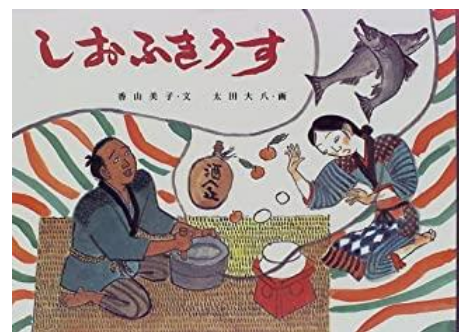
貝や海そうを探すのも楽しみです。海の水はなぜ塩からいの？なぜざぶんざぶんと波があ

るの？海には不思議がいっぱい、宝物がいっぱい。今月のテーマは「海」です。

最初は、「ワニぼうのかいすいよく」です。ワニぼうは生まれて初めて海にやって来ました。「大きいねえ。これが海なんだね」「これが海なんだよ」とお父さん。海の水を飲んでみたワニぼうは「しょっぱい」とはきだしました。「海だもの」お母さんは笑っています。

次は「海へのふしぎな生きものたち」です。潮が引いたあとの海岸を歩くと、へんな生きものがぎっしり！砂浜、干潟、磯の海を歩いて見つけた、奇想天外な形、さまざまに飾られた色、奇抜なデザイン、生活の仕方のおもしろさなど、そのふしぎさを迫力ある写真で紹介。

最後は、「しおふきうす」です。まずしい弟がむぎまんじゅうとひきかえに小人からもらったのは、世にも不思議な石のひきうすで、右にまわすとほしいものが何でも出てくるのでした。けちんぼうの兄はこのひきうすがほしくなり…。海の水がなぜ塩からなくなったのかのお話。



ワニぼうのかいすいよく  
内田 麟太郎 文  
高島 純 絵  
文溪堂

海へのふしぎな生きものたち  
よしざきかずみ 写真  
とりないけいご 文  
岩崎書店

しおふきうす  
香山 美子 文  
太田 大八 画  
教育画劇

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 106号 2016年9月  
巡回学級文庫通信 第106号 2016年9月

き 聞かせて、おじいちゃんおばあちゃんの はなし 話

9月19日は「敬老の日」です。兵庫県の小さな村で行われていた行事がはじまりとされています。「お年よりを大切に、その知恵を借りて村作りをしよう！」と、農作業のひまな時期で、気候のいい9月にお祝いをしていたそうです。それが全国に広まり、おじいちゃん、おばあちゃんに、いつもありがとうと伝え、みんなでお祝いする日となったのです。

最初は、「いわんこっちゃない」です。ぼくのおじいちゃんは「よげんしゃ」だ。それはじょうだん。でも、悪いことはほんとによく当たるんだ。たとえば、手を洗うときに「ひじまでそでをまくらんかい。きもちわるくなるぞー」だって…。

次は「わらぐつのなかの神様」です。明日は学校でスキーの日。だけど、マサエのスキーぐつはぬれたまま。代わりにわらぐつをすすめるおばあちゃんがしてくれた むかしばなし 昔話とは…。

最後は、「おじいさんならできる」です。ヨゼフが赤ちゃんのとき、おじいちゃんがブランケット（毛布）をぬってくれました。そのブランケットが古くなるとジャケットに。そしてベスト、ネクタイ、ハンカチへとおじいさんは次々にステキなものに作りかえてくれます。



いわんこっちゃない  
スギヤマカナヨ 作  
少年写真新聞社



わらぐつのなかの神様  
杉 みき子 作  
加藤 美紀 絵  
岩崎書店



おじいさんならできる  
フィービ・ギルマン 作・絵  
芦田 ルリ 訳  
福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ  
巡回学級文庫通信 第107号 2016年10月

スポーツばんざい！

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックは盛り上がりましたね。見ていた人みんな、自分が一番感動した名シーンが語れると思います。さあ次は東京だ！でもオリンピックを目指せる人はほんの少しだけです。目指せなくても、走るのが遅くとも、バスケットがちっとも上手くなくても、スポーツ大好き、スポーツばんざい！

最初は、「りきしのほし」です。おいら力士のかちかちやま。すもうのけいこはきびしいっす。しこをふんだり、ぶつかりあったり。おいらの楽しみは、ちゃんこの時間と花を育てること。やめたくなったりもしたけれど、もっとけいこにはげんで強い力士を目指します。

次は「白をつなぐ」です。都道府県対抗男子駅伝に福岡を代表して出場する中学生、高校生、大学生、社会人の選手たち。世代の違う彼らが、悩みながら走り続ける理由とは…。それぞれの思いを胸に、たすきをつないで走る姿を描く。

最後は、「夢をかなえるスポーツ応援レシピ つくろう！食べよう！勝負ごはん」です。スポーツに必要な、からだをつくる、ちからをつける、げんきになるごはんとおやつのつくり方を、やさしく紹介。



りきしのほし

加藤 休三 作  
イースト・プレス



白をつなぐ

まはら 三桃 作  
小学館



夢をかなえるスポーツ応援レシピ  
つくろう！食べよう！勝負ごはん

新生 暁子 監修  
日本図書センター

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねん がつ  
巡回学級文庫通信 第108号 2016年11月

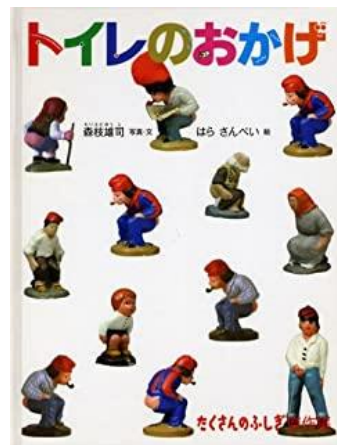
## うんちのおはなし

しょくよく あき  
食欲の秋です。おいしく、いっぱい食べていますか？ごはんがおいしいと思えるなら、  
たいていのことは大丈夫です。いっぱい食べたら、いっぱい出るのがうんち。どんな色・  
どんな形・どんなにおい？え～きたない～、え～くさい～なんて言わないで！いいうんち  
をすることは、とっても大事なんですよ。

さいしょは、「うんぴ・うんにょ・うんち・うんご」です。うんこは、はずかしいものではなく、生きていくうえで自然で大切なこと。いっしょにうんこについて考えてみませんか？気持ちよくトイレに行けるようになる絵本。

つぎは「トイレのおかげ」毎日の生活に欠かせないトイレ。ヨーロッパ、フィリピン、日本など、世界の「人とトイレ」の歴史から、飛行機や宇宙船のトイレまで、写真と楽しい絵でたどる。面白い場面がいっぱいの本です。

最後は、「うんちっち」です。むかしむかしあるところに、うさぎの子がいました。うさぎの子はことばをたったひとつしか言えませんでした。それは・・・「うんちっち」



うんぴ・うんにょ・うんち・うんご  
村上 八千世 文  
せべまさゆき 絵  
ほるぷ出版

トイレのおかげ  
森枝 雄司 写真・文  
はらさんぺい 絵  
福音館書店

うんちっち  
ステファニー・フレイク 作  
ふしみみさを 訳  
あすなろ書房

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがらきゅうぶんこうしん だい 109号 2016年12月  
巡回学級文庫通信 第109号 2016年12月

お 客 さま

だんだん寒くなってきましたね。もう1年の終わりで、クリスマスや年末年始に、

友だちや親せきの人と、にぎやかに集まりましょう。お客さまになっても、お客さまが

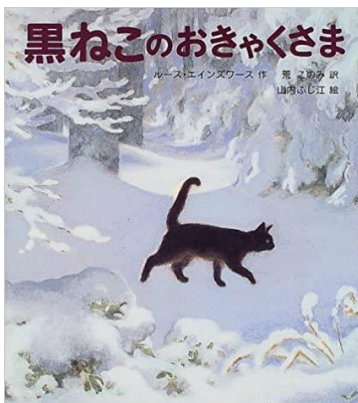
来られても、わくわくしますね。何をごちそうしましょうか。いろいろ考えて、準備

することも楽しみです。今月のテーマは「お客さま」です。

最初は、「黒ねこのおきゃくさま」です。雨のふるさむい土よう日の夜。貧しい一人暮らしのおじいさんにとってその日は一週間に一度の、肉とパンのごちそうの日でした。そのとき戸口に鳴き声が聞こえ、見ると、訪れたのはやせておなかをすかせた黒ねこのお客さまでした。

次は「びんぼうがみとふくのかみ」です。犬みそかの夜、びんぼうだけどはたらきものの、とうさんかあさんの家のやねうらから、へんてこな、ちいさいじいさまがおりてきた。じいさまはこの家に住みついていたびんぼうがみだったんだ。びんぼうがみは、ふくのかみにおいだされそうだということ・・・

最後は、「ねんにいちどのおきゃくさま」です。オコジョのタッチィは、山に住んでいます。山の家にひとりで住むおじいさんのもとへやってくる、年に一度のお客さま、孫のヤーコポと過ごすクリスマスを、タッチィもおじいさんも毎年楽しみにしていました。



黒ねこのおきゃくさま  
エインスワース 作  
荒 このみ 訳  
山内 ふじ江 絵  
福音館書店



びんぼうがみとふくのかみ  
大川 悦生 作  
長谷川 知子 絵  
ポプラ社



ねんにいちどのおきゃくさま  
亀岡 亜希子 作・絵  
文溪堂

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 110号 2017年1月  
巡回学級文庫通信 第110号 2017年1月

ことし どり ねん  
今年はとり年

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。お正月になると、  
そういえば、日本には十二支（ね・うし・とら・う・たつ・・・）があつたんだ一、な  
んて思ひます。初もうでに出かけた先で、いろいろなお店の、いろいろなディスプレイを見る  
のも楽しみです。「とり発見！！」なんてね。今月のテーマは「今年はとり年」です。

最初は、「あわてんぼうのニワトリねえさん」です。ニワトリのコッコねえさんにあかちゃんが  
生まれました。けれど赤ちゃんはまるくて、のっぺらぼうのつんつるてん。びっくりしたコッコねえ  
さんは…。十二支に選ばれた12ひきの動物たちを主人公にした昔話シリーズ。

次は「ピヨピヨスーパーマーケット」です。今日はママとスーパーへお買い物。プリンにチョコレート、  
みんなの頭の中はお菓子でいっぱい。なのに…。かわいいヒヨコがくり広げる、楽しさいっぱいの  
おはなし。

最後は、「おとなりさん」です。にわとりは、となりに誰かが引越してきたと知ってわくわく！  
でも、おとなりさんはなかなか姿をあらわしません。そこでにわとりは、手紙を書いてとなりの家のドア  
にはっておくことにしました。実は、おとなりさんとは…。



あわてんぼうのニワトリねえさん  
谷 真介 文  
赤坂 三好 絵  
佼成出版社

ピヨピヨスーパーマーケット  
工藤 ノリコ 作  
佼成出版社

おとなりさん  
きしら まゆこ 作  
高島 純 絵  
BL 出版

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 111号 2017年2月  
巡回学級文庫通信 第111号 2017年2月

まめ

この通信のタイトル「おまめちゃん」には、みんなが「まめ」に働き、「まめ」なように（まじめに働き、元気に過ごせますように）、という願いをこめています。それと、どんな鬼にも豆をまけ！とは言いません。鬼の中には、子だくさんで、浦島太郎のギターと太鼓でセッションする、カッコいい鬼ちゃんもいるからね。今月のテーマは「まめ」です。

最初は、「まめのかぞえうた」です。ひとつ、まめひとつあったとき。はたけにうめて、つちのなか。ふた一つ、ふたごのはっぱのあかちゃん、げんきよくでてきたよ。豆の木がぐんぐん成長してできた豆を、福が来るよう元気に食べる、楽しいかぞえうた絵本。

次は「まいごのまめのつる」です。マグばあさんは、野菜作りは上手だけれど料理はだめ。メグばあさんは、料理は上手だけれど野菜作りはだめで、ふたりは仲が悪い。ところが、マグばあさんの豆のつるがのびて、メグばあさんの庭で実をつけて…。

最後は、「豆わたし」です。川の水をめぐっていがみあう、ふたつの村。ひそかに想いあう天音村のじんじろうと天流村のねねは、ふしぎなお坊さまに教えてもらった「豆わたし」で、このあらそいを止めようと決心した。



まめのかぞえうた  
西内 ミナミ 作  
和歌山 静子 絵

すずき出版



まいごのまめのつる  
こだま ともこ 作  
おりも きょうこ 絵

福音館書店



豆わたし  
原案 上嶋 常夫  
構成・絵 岡田 潤  
文 おおたに みねこ  
岩崎書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 112号 2017年3月  
巡回学級文庫通信 第112号 2017年3月

はる ま  
春を待ちわびて

「冬来たりなば、春遠からじ」と言います。長い冬を耐えて春を待つ気持ちの表現です。

また、「♪どんなにつらいような時も せわしなく過ぎて行く日々も 明日への続いた道で

一つ一つが今の君へ♪」という歌もあります。気分が落ち込んだ日には、あったかいお風呂

や、お気に入りの本の中、大好きな歌の中にゆっくりとつかりましょう。 (「道」GReeeeN)

最初は、「はるまでまってごらん」です。「ねえ、どうしてぼくにはきょうだいがいないの？」森に住む、うさぎの子どもたちにはみんなきょうだいがいるのに、ぼくにだけはいないのです。「はるまでまってごらん」とおかあさん。でも、春はまだまだきそうにありません。

次は「はるですよ」です。春が来ました。山にも、海にも、田んぼにも……。いろんな場所に目を向けて、そっと耳を澄ましてみると、さまざまな発見に出会います。春の訪れを喜んでい

る生きものたちを見つけてみませんか？  
最後は、「いいことってどんなこと」です。雪どけがはじまり、雪のしずくも小鳥も、川も風もうれしそう。女の子が「どうして、そんなにうれしいの？」とたずねると、みんな「いいことがあるからよ」と答えます。女の子が最後にみつけた「いいこと」とは…？



はるまでまってごらん  
ジョイス・テュンバー 文  
スーザン・バーレイ 絵  
角野 栄子 訳  
ほるぷ出版

はるですよ  
柴田 晋吾 作  
広野 多珂子 絵  
金の星社

いいことってどんなこと  
神沢 利子 作  
片山 健 絵  
福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこうつうしん だい 113 号 2017 年 5 月  
巡回学級文庫通信 第113号 2017年5月

## ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

思うものを取り上げていきます。知っていますか？来年には、新しい図書館ができる予定

です。どんな図書館になるといいと思いますか？今月のテーマは「図書館」です。

最初は、「としょかんねずみ」です。サムは図書館に住むネズミです。とにかく本を読むのが大好き。いろいろな本をたくさん読んで、とうとうすばらしいことを思いつきました。「自分で本を書いてみよう！」サムは夜のうちに自分の本を図書館のたなに並べて…。

次は「うみのとしょかん」です。ここは、うみの図書館。小さいタコは、「りくのどうぶつ」のずかんから、母さんとそっくりな目をしたどうぶつを見つけて…。この図書館のお世わをしているのは、わかいヒラメです。まいにち、たくさんのお本の相談をうけます。

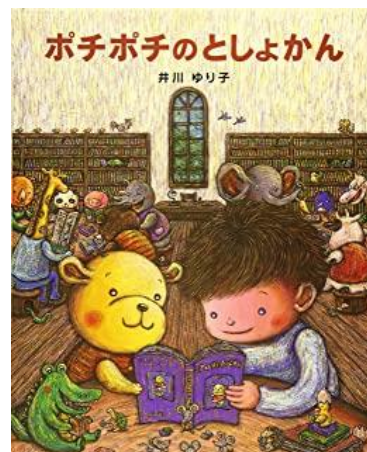
最後は、「ポチポチのとしょかん」です。いつもの時間、いつもの図書館に今日もぼくは行ったんだ。ただどね、あれも読んだし、これも読んだ。ぼくはちょっとつまらなくなって、窓のほうをちらっと見たんだ。そしたらね、窓にちょっこり、こいぬがすわってた…。



としょかんねずみ  
ダニエル・カーク 作  
わたなべ てつた 訳  
瑞雲社



うみのとしょかん  
葦原 かも 作  
森田 みちよ 絵  
講談社



ポチポチのとしょかん  
井川 ゆり子 作  
文溪堂

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこうつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第114号 2017年6月

でんしゃ い  
電車で行こう！

どこか遠くへ行きたいなあ。そう思うことはありませんか？どこかって、どこでしょう？

おじいちゃん・おばあちゃんのいるところへ？家族と温泉へ？あるいは希望をのせて明日

への旅へ。※1 あるいは閉じた扉をタタキつぶして、未来へ。※2 車もいいいけれど、電車

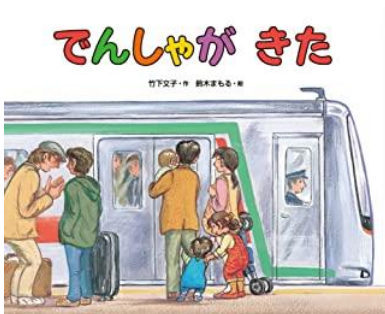
の旅も楽しいですよ。知らない風景や知らない駅をみて、わくわくしましょう！今月のテ

ーマは「電車で行こう！」です。※1「希望の轍」サザンオールスターズ ※2「轍」コブクロ

最初は、「でんしゃがきた」です。田んぼのむこうや鉄橋の上、うみべの町を、いろんな電車が走る。どこに行くのかな？誰が乗るのかな？電車のある風景を豊かな色彩で描いた、楽しいのりもの絵本。

次は「ペンギンきょうだい れっしゃのたび」です。ペンギンのきょうだい、お姉ちゃん、ペンちゃん、ギンちゃん。明日はきょうだい3人だけで列車の旅に出かけます。さあ、いよいよ出発の朝。ドキドキ、ワクワク、初めての旅はどうなるのかな。

最後は、「まぼろしの ゆきのはらえき」です。海辺から山奥まで走る、うみやま鉄道。豊かな自然の中を走るうみやま鉄道では、ときどき不思議なことが起こります。あるふぶきの日、雪野原の中に、あるはずのない駅が…。



でんしゃがきた  
竹下 文子 作  
鈴木 まもる 絵  
偕成社



ペンギンきょうだい  
れっしゃのたび  
工藤 ノリコ 作  
フロンティア新社



まぼろしの ゆきのはらえき  
間瀬 なおかた 作・絵  
ひさかたチャイルド

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこうしん だい 115 号 2017 年 7 月  
巡回学級文庫通信 第115号 2017年7月

あめ あめ  
雨には雨の・・・

いよいよ梅雨の季節です。雨ふりは、うっとうしい？いえいえ雨には雨のおたのしみ。

ひと雨ごとにあざやかになるアジサイの花。梅雨のあいまの晴れた空。雨上がりのさわや

かな緑の葉。あつかたつむり発見！などなど。この世は美しいもので満ちています。一つ

ひとつの美しいものを心の奥へそっとしまいこみましょう。今月のテーマは「雨には雨の・・・」です。

最初は、「みずくさむらとみずべむら」です。ほたるいけの中に「みずくさむら」という小さな村がありました。雨が降ってくると、あめんぼやげんごろうたちは大喜びで波乗りをしたりして遊びましたが、強い風が吹いてきて、池の外に流されてしまい…。

次は「かえるのかさやさん」です。かえるのかさやさんは雨が好き。今日もせっせとお店にかさをかざって、お客さんを待っています。でもいっこうにお客さんは来てくれません。そこで散歩に出かけることにしました。帰ってきたら、ハリネズミさんがやってきて…。

最後は、「雨がふったら、どこへいく？」です。リュックとマリオンのふたごのきょうだいは、仲良しのステフといっしょに、沼に出かけます。まわりには、いろいろな生き物がいっぱい！ ところが雨がふりだすと…あれれ？ みんな、どこへいくのかな？



みずくさむらとみずべむら  
カスコ・G・ストーン 作  
福音館書店



かえるのかさやさん  
戸田 和代 作  
よしおかひろこ 絵  
岩崎書店



雨がふったら、どこへいく？  
ゲルダ・ミュラー 作  
いとうなおこ 訳  
評論社

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だい 116号 2017年9月  
巡回学級文庫通信 第116号 2017年9月

しゅじんこう  
主人公はだあれ

ああ、<sup>なつやす</sup>夏休みが<sup>お</sup>終わりましたね。もっと<sup>あそ</sup>遊びたかった人。やっと<sup>ひと</sup>学校が<sup>がっこう</sup>始まってうれし  
い人。どっちも一、という人。いつだって、<sup>しゅじんこう</sup>主人公はあなたです。♪いくら<sup>せ</sup>背伸びをして  
みても、<sup>あい</sup>相<sup>あ</sup>変わらず<sup>ちきゅう</sup>地球は<sup>まわ</sup>じゅっくり回<sup>いまじぶん</sup>ってる。今<sup>こと</sup>自分に<sup>なが</sup>できる事を<sup>な</sup>ひたすら<sup>なが</sup>流<sup>なが</sup>されずにや  
ってみよう♪ (ゆず、「<sup>しょうねん</sup>少年」)。2<sup>がっき</sup>学期も、<sup>げんき</sup>元気に<sup>こんげつ</sup>がんばりましょう！今月のテーマは  
「<sup>しゅじんこう</sup>主人公はだあれ」です。

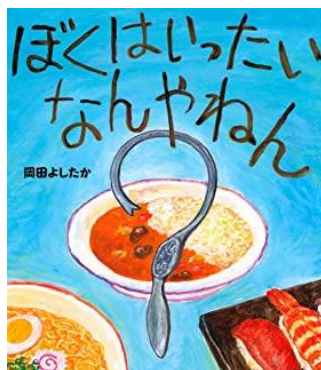
<sup>さいしょ</sup>最初は、「<sup>やま</sup>からかさに<sup>はたけ</sup>ざえもん」です。<sup>あそ</sup>山の<sup>あそ</sup>畑<sup>あそ</sup>でばあさんが<sup>と</sup>がけ<sup>と</sup>をした。じいさんが<sup>と</sup>リヤカー<sup>と</sup>を取り  
に家に<sup>いえ</sup>戻り、「<sup>お</sup>ばさまが<sup>たいへん</sup>たいへんだ。たすけ<sup>さけ</sup>で<sup>なん</sup>けろ！」と<sup>なん</sup>叫ぶと、<sup>なん</sup>何と、<sup>なん</sup>からかさ、<sup>なん</sup>じゃのめ、<sup>なん</sup>うすなど  
<sup>どうぐ</sup>道具<sup>だ</sup>たちが<sup>はな</sup>動き出し、<sup>はな</sup>話しかけてきて…。

次は「<sup>ぼく</sup>ぼくは<sup>なん</sup>いったい<sup>なん</sup>なんや<sup>ねん</sup>ねん」です。<sup>なん</sup>自分が<sup>なん</sup>なんなのか<sup>わす</sup>忘れて<sup>なん</sup>しまった「<sup>ぼく</sup>ぼく」。耳<sup>みみ</sup>かき？<sup>なん</sup>くぎぬ  
き？<sup>なん</sup>あみぼう？ 「<sup>なん</sup>いやいや、<sup>ぜったい</sup>絶対<sup>なん</sup>なんかを<sup>なん</sup>食べる<sup>なん</sup>ときに<sup>なん</sup>使う<sup>なん</sup>もんや」と<sup>なん</sup>思った「<sup>ぼく</sup>ぼく」は、<sup>なん</sup>自分が<sup>なん</sup>なん  
なのかを知る<sup>なん</sup>ために<sup>なん</sup>旅<sup>なん</sup>に出<sup>なん</sup>ることに<sup>なん</sup>しました。

<sup>さいご</sup>最後は、「<sup>おひさま</sup>おひさまのお<sup>おうさま</sup>おうさま」です。<sup>そら</sup>空の<sup>おうこく</sup>王国<sup>おう</sup>にくらす<sup>おう</sup>おひさまの<sup>おう</sup>王<sup>あそ</sup>さまが、<sup>あそ</sup>みんなと<sup>あそ</sup>遊び<sup>あそ</sup>たくなり、  
<sup>なん</sup>なんと、<sup>ちじょう</sup>地上<sup>あつ</sup>におり<sup>あつ</sup>てきて<sup>あつ</sup>てしまいました。けれど、<sup>あつ</sup>おひさまは<sup>あつ</sup>とっても<sup>あつ</sup>熱<sup>あつ</sup>くて、<sup>あつ</sup>まぶ<sup>あつ</sup>しくて…。



からかさにざえもん  
最上 一平 文  
国松 エリカ 絵  
文研出版



ぼくはいったいなんやねん  
岡田 よしたか 作  
佼成出版社



おひさまのおうさま  
たはら ともみ 作  
教育画劇

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっしゅうぶんこつうしん だい 117 号 2017 年 10 月  
巡回学級文庫通信 第117号 2017年10月

みあ  
見上げてごらん

さて、この子たちは何をみあ  
見上げていますのでしょうか。



みあ よる ほし  
♪見上げてごらん夜の星を♪

はい、さかもときゆう おも ひと おも ひと さかもときゆう  
坂本九 と思った人、ゆず と思った人。坂本九 って  
だれ? おも ひと おうちの ひと き  
と思った人は、おうちの人に聞いてくださいね。

ほし みあ かぜ そら と うた そら みあ  
星を見上げたり、「風になりたい」や「いつか空も飛べるはず」と歌ったり。空を見上げて、

じゆう そうぞう つばさ ひろ こんげつ みあ  
自由に想像の翼を広げてみましょう。今月のテーマは「見上げてごらん」です。

さいしょ ほし おうじさま  
最初は、「星の王子さま」です。「ねえ、ヒツジの絵をかいてよ・・・」さばく ふじちやく ひこうし  
砂漠に不時着した飛行士は、  
ふしぎな 男の子<星の王子さま>に出会いました。

つぎ よだかの ほし  
次は「よだかの星」です。よだかは、実にみにくい鳥でした。その姿かたちゆえに、ほかの鳥からう  
とまれ、さげすまれ、その名のゆえに、本物のタカからきられ、おどされつづけました・・・。

さいご まじよ ほし  
最後は、「魔女バジルとなぞのほうき星」です。しんまいまじよ たいやく  
新米魔女のバジルに大役がまかされました。コウモリ男  
にとり上げられて、星にされてしまった大魔女のほうきをとりもどしてほしいというのですが…。



星の王子さま  
サン・テグジュペリ 原作  
堀 あいえ 訳  
マーク・オスボーン 監督  
徳間書店

よだかの星  
宮沢 賢治 作  
中村 道雄 絵  
偕成社

魔女バジルとなぞのほうき星  
茂市 久美子 朔  
よしざわ けいこ 絵  
講談社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第118号 2017年11月 がつ

おどります

おどります。しょうじょう寺のにわで、ぽんぽこぽんとお腹をたたいておどるのは、ため  
き。ねこじゃねこじゃ、と手ぬぐいをかぶっておどるのは、年老いたねこがなる、ねこま  
た。「新しいステージのはじまりだー♪」とタオルを振り回して歌いおどるのは、ナオト・  
インティライミ。では、おぎのめちゃんの歌でバブリーダンスをおどるのは？歌っておど  
れば、みんな幸せ。今月のテーマは「おどります」です。

最初は、「おどります」です。ぶたがおどります。かばとぞうがおどります。たこがおどります。みんな  
がおどります…。次々とおどる動物たちに、吹き出すにはいられません。

次は「アンジェリーナはバレリーナ」です。ねずみのアンジェリーナは、バレエが大好き。家でも、  
学校でも、夢の中でもおどっています。勉強もお手伝いもせずにおどってばかりのアンジェリーナに、  
お母さんは困ってしまって…。

最後は、「エラのがくげいかい」です。もうすぐ楽しい学芸会。「わたしはバレエをおどるわ」「ぼくは  
手品！」と、みんなおおはりきり。でもゾウのエラは、みんなの前で発表するのが、ちょっと苦手で…。



おどります  
高島 純 作

絵本館



アンジェリーナはバレリーナ  
キャサリン・ホラバード 文  
へレン・クレイグ 絵  
おかだ よしえ 訳  
講談社



エラのがくげいかい  
カルメラ・ダミコ 文  
ステイブン・ダミコ 絵  
角野 栄子 訳  
小学館

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第119号 2017年12月

もう12月!

もう12月! えーもう1年過ぎてしまうのかー。日々が過ぎるのはなんて早いんですよ! あと1か月なんて……。この1年、どんなことがありました? 来年はどんなことをしましょうか。図書室は来年、河南町立図書館として生まれ変わります。「おまめちゃん」

も今回でしばらくお休みです。今月のテーマは「もう12月!」です。皆様よいお年を。

最初は、「もちもちおもち」です。みんな大好き、おもちだよ。あんこもちやら、きなこもち、からみもちに、ずんだもち。もちもちもちっと、せいぞろい! 声に出して読んでも楽しい、リズムカルなおもちの絵本。

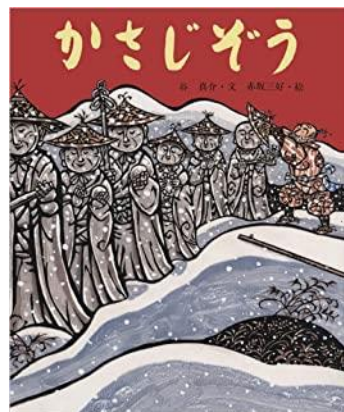
次は「かさじぞう」です。むかしむかし、山おくの村に、なかのいいおじいさんとおばあさんが住んでいました。ふたりはとてもまずしくて、明日はお正月というのに、おもちをかうお金もありませんでした。おじいさんは、町へかさを売りにいくことにしました。

最後は、「えんぎがいい」です。神社のきつね、かざりだなのまねきねこ、おさいふのかえる。めでたい、たい。うまいく、うま。日本にはむかしから、よいことを呼ぶどうぶつたちがいます。これはそんな「えんぎがいい」どうぶつを知る絵本です。



もちもちおもち  
庄司 三智子 作

岩崎書店



かさじぞう  
谷 真介 文  
赤坂 三好 絵  
佼成出版社



えんぎがいい  
雨宮 尚子 作

白泉社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第120号 2018年5月

## ブックトークのすすめ

かなんちょうりつとしょかん ことし がつ  
河南町立図書館は今年3月にやまなみホールに移転しオープンしました。みなさんはもう  
本を借りに来られましたか？ピッカピッカの、うれしくなっちゃうような施設に变身しま  
したよ！さて、ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介すること  
をいいます。河南町立図書館の司書が、図書館の本の中から、みなさんに読んでほしいな  
と思うものを取り上げていきます。今月のテーマは「こころがぼかぼかする本」です。

さいしょは、「わたしはあかねこ」です白ねこかあさんと黒ねことうさんから産まれた5匹のねこたち。そ  
の中で、1匹だけあかいねこがいました。みんなは、あかねこの体を白や黒に染めようとしてますが、あ  
かねこは自分の体の色を気に入っていて…。

つぎは「きいのいえで」です。きいと私は、ふたごの姉妹。ある日、きいが家出をするって言い出した。  
「ねえ、おかし食べてからいったら？」 とにかく、ひきとめなくちゃ！

さいごは、「あかいかばんのひみつ」です。どうしてこんなだっさいかばんで、学校へ行かなくちゃいけ  
ないの！？ モニカがお母さんから渡されたのは、みんなが持っているのとは全然違う、真っ赤なかば  
ん。ところが、赤いかばんには秘密の力があつたのです…。



わたしはあかねこ  
サトシン 作  
西村敏雄 絵

文溪堂



きいのいえで  
種村 有希子 作

講談社



あかいかばんのひみつ  
フレヤ・ブラックウッド 文  
エマ・アレン 絵

木坂 涼 訳  
国土社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第121号 2018年6月

虫・むし・ムシ

あつ暑くなってくると、やってきます。むし虫・むし・ムシ。あなたは虫が好きですか？バツタやチョウやカマキリはいいけど、イモムシやゲジゲジ、ダンゴムシはねえ・・・という人もいるでしょうね。キャーッ！台所のゴキブリ、やめてえー！なんて人も。好きな人も嫌いな人も、本の中の虫を楽しみましょう。今月のテーマは「虫・むし・ムシ」です。

さいしょ最初は、「むしのかお」です。みなさんは、虫のかおをじっと見つめたことがありますか？虫とにらめっこするのは、そう簡単ではありませんね。この本では虫のかわいいかお、こわいかお、おもしろいかお、ふしぎなかおなど、個性ゆたかな虫のかおがせいぞろい！

つぎ次は「いもむしってね・・・」です。庭で、派手ないもむしを見つけたぼく。お母さんが、キアゲハの幼虫だって教えてくれた。キアゲハの幼虫は、ニンジンのはっぱをたくさん食べて、そのうちさなぎになった。ある日、さなぎの背中がぱりっと割れて…。

さいご最後は、「これもむしぜんぶむし」です。「知らない虫なんていない」といばっている虫の学者たち。そこへお腹がすくと騒ぎ出す「はらのむし」や、文字を読むのが好きな「むしめがね」、菌と菌の間にいる「にがむし」などがあらわれて…。



むしのかお  
新開 孝 写真・文  
ポプラ社



いもむしってね・・・  
澤口 たまみ 文  
あずみ虫 絵  
福音館書店



これもむしぜんぶむし  
内田 麟太郎 作  
斎藤 隆夫 絵  
すずき出版

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこうしん だいごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第122号 2018年7月

あめ ひ どくしょ  
 雨のふる日は読書をしよう

あーやだやだ！きのうも雨、今日も雨。ぜんぜん外であそべないや。家じゅうに洗たく  
 物が干してあるし、じめじめむしむしするし、なーんにもする気がしないや、なんて  
 言ってるあなた。雨には雨のおたのしみ。雨音を聞きながら、おしゃれな気分で読書はい  
 かが？今月のテーマは「雨のふる日は読書をしよう」です。

最初は、「あめふりうります」です。ぐうたら猫のねこきちが始めたのは「あめふり」売り。ねこきち  
 が顔を洗うと、ざざざざーと雨が降ります。はじめは順調でしたが、きつねの嫁入りをめぐって村  
 は大騒動に…。雨が楽しくなる、ことわざ落語創作絵本。

次は「雨の日のふたり」です。心配性のしんくんと、のんきなのおんちゃん。正反対の二人は  
 雨の水たまりに落ちる音、かさに落ちる音…。いろんな雨の音を聞きながら、二人は森の中で雨やどり。

最後は、「雨ふる本屋」です。だれかが忘れてしまった夢や、「おしまい」の文字を書かずに途中にな  
 ってしまった物語に、雨をかけてできあがる「雨ふる本」。満たされない寂しさをかかえたルウ子は、  
 ひょんなことから「雨ふる本屋」に迷いこみ…。



あめふりうります  
 平田 昌広 文  
 野村 たかあき 絵・原案  
 講談社



雨の日のふたり  
 とりこえ まり 作  
 アリス館



雨ふる本屋  
 日向 理恵子 作  
 吉田 尚令 絵  
 童心社

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第123号 2018年9月

## やさいのおはなし

お母さんはいつも言う。「やさい食べなさいやさいを!」「やさいのこしたらあかん!」

あーやだやだ! トマトはいいけど、苦手なやさいも多いんだ。いやいやそれではアキマセ

ン。やさいは、元気のもとになるすごい力をもっているのです。体の調子をととのえて

くれる、強い味方なのです。今月のテーマは「やさいのおはなし」です。

最初は、「野菜と栄養素キャラクター図鑑」です。この本では、八百屋さんやスーパーで見かけるやさいのうち、食卓や給食によく出るやさいがキャラクターになって登場します。おもしろくて、かわいいやさいキャラクターが自分たちの歴史やとくちょうを教えてくださいます。

次は「やさいはいきている」です。やさいはみんな生きている。切れはしになっても生きている。さあ、料理のあとのやさいの切れはし、捨てずに育ててみよう。そのすごい生命力に、びっくりするよ。

最後は、「マクドナルドさんのやさいアパート」です。マクドナルドさんはアパートの管理人。大家さんに内緒でアパートにやさいを植え始めた。住人が引っ越すたびに新しいやさいを植え、ウシやニワトリを連れてきて、ついにアパートは…。



### 野菜と栄養素

#### キャラクター図鑑

田中 明 監修

蒲池 桂子 監修

いとうみつる イラスト

日本図書センター

### やさいはいきている

藤田 智 監修

岩間 史朗 写真

ひさかたチャイルド

### マクドナルドさんの

#### やさいアパート

ジュティ・バレット 文

ロン・バレット 絵

ふしみ みさを 訳

朝北社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがくきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第124号 2018年10月

じてんしゃ  
自転車にのって

あんなに暑かった夏もやっと終わり。いい季節になりました。風はさわやかに吹き、山  
のや野があざやかに見えます。野辺の花も色とりどりにさいています。よく晴れた日には、  
じてんしゃ  
自転車にのって、あきかぜ  
秋風をはおってでかけましょう。こんげつ  
今月のテーマは「じてんしゃ  
自転車」です。

さいしょ  
最初は、「じてんしゃ  
自転車の大研究」です。知ってるかな？じてんしゃ  
自転車のあれこれ。どうしてたおれずにはし  
走れるのか  
な？せかい  
世界でさいしょ  
最初の自転車はどんなのかな？などなど、じてんしゃ  
自転車のあらゆることがわかる本です。

つぎ  
次は「だれのじてんしゃ」です。「だれのじてんしゃ？」とページをめくると、「ぼくのじてんしゃ」と  
もちぬし  
持ち主があらわれます。えっワニ！、えっカメレオン！、えっダチョウ！うふふのじてんしゃがいつぱ  
いです。

さいご  
最後は、「ホカリさんのゆうびんはいたつ」です。ホカリさんは、ちい  
小さなまちのゆうびんやさん。あか  
赤い  
ちい  
小さなじてんしゃ  
自転車にのって、にこにこしながらてがみ  
手紙を届けます。あるひ  
日、たぬきの子から、いそいでてがみ  
急いで手紙を届  
けてほしいと頼まれます。ところが、届けたい相手というのが、そら  
空のおひさままで…。



自転車の大研究

自転車文化センター 監修  
谷田具一男  
PHP

だれのじてんしゃ

高島 純 作・絵  
フレーベル館

ホカリさんの

ゆうびんはいたつ  
はせがわ さとみ 作  
かわかみ たかこ 絵  
文溪堂

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい じょう がつ  
 巡回学級文庫通信 第125号 2018年11月

あき よる  
 秋の夜に

お風呂でじっくり温もって、ゆっくりと眠りにつく前に、こんな秋の絵本はいかがでしょう。秋の夜には、すこし不思議で、美しさと静けさに満ちた、夜の世界に迷い込んでしまうような本が似合います。想像のつばさを広げて、ゆったりと味わいましょう。

こんげつ  
 今月のテーマは「秋の夜に」です。

最初は、「ネコツメのよる」です。ネコの秘密、教えてください。町中のあちこちから集まってきたネコたちが、夜空を見上げて待つものとは…。人間は知らない、ネコたちの特別な夜を、ファンタジックに描き出します。

次は「ひかりうりのぴかこさん」です。ちょうちんあんこうのぴかこさんは雑貨屋さん。でも、別の仕事もあるんです。ある日、お店を閉じたぴかこさんは、暗い海の上に出て、明かりを必要とする陸の動物たちに頭の光を売りに…。月の出ない静かな夜を舞台にした物語。

最後は、「としょかんのよる」です。ネズミを追いかけたキツネがたどり着いたのは図書館でした。文字が読めないキツネは、図書館や本がどんなものなのか知りません。けれどネズミが出してくれた絵本はおもしろそうです。それからキツネは毎晩図書館へ通って…。



ネコツメのよる  
 町田 尚子 作

WAVE 出版



ひかりうりのぴかこさん  
 松山 円香 作

佼成出版社



としょかんのよる  
 ローレンツ・パウリ 文  
 トリーン・シェーラー 絵  
 若松 宣子 作

ほるぷ出版

# 「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第126号 2018年12月

## お手伝い

ああ忙しい、忙しい。12月はクリスマスの用意や、大そうじや、お正月のしたくに、おせち料理も作らなくっちゃ。ああ忙しい忙しい。そう言っているおうちの人に、お手伝いできることありますか？と聞いてみましょう。おうちの人の役に立つってということは、本当はとてもうれしいことなんですよ。「今月のテーマは「お手伝い」です。

最初は、「小さなピスケのはじめてのおてつだい」です。冬のある日、ピスケは積み重なった落ち葉のあいだから、しっぽがつき出ているのを見つけた。ひっぽってみると、小さな男の子だった。冬眠しかけていた男の子を連れて帰ったピスケは…。小さなピスケの3番目のお話。

次は「十二支のおもちつき」です。今年もそろそろおしまいです。夜おそくにやってきた、お腹をすかせたねずみに、おじいさんとおばあさんは、もちつき用のもちごめをわけてあげました。次の日、ねずみがやってきて、もちつきを手伝ってくれることに…。

最後は、「それならいいいえありますよ」です。ぐうたらでなまけ者のぎんたは、家探しのねこ「ちゃまる」に片付いてきれいな家を探してもらおうと、願いを書いてねこじぞうに貼っておいた。「これきれいな家に住めるなら、掃除はやらない」と言っていたぎんただけど…。



小さなピスケの  
はじめてのおてつだい  
二木 真希子 作  
復刊ドットコム



十二支のおもちつき  
すとうあさえ 作  
早川 純子 絵  
童心社



それならいいいえありますよ  
澤野 秋文 作  
講談社

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第127号 2019年1月 がつ

おんせんはい  
温泉入りた～い

あ  
明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今年も元氣いっぱい

としよかん き  
図書館に来てくださいね。今月のテーマは「温泉」です。寒い日にはお風呂であったまる

いちばん  
のが一番。あ～ゆっくりと温泉に行きたいな～。

さいしよ  
最初は、「妖怪温泉」です。温泉旅館にやって来た男の子。お父さんが待つ「しのびの湯」に行くは  
ずが、まちがって妖怪温泉へ。そこには「若返りの湯」「雪女風呂」など、不思議な温泉がたくさんあ  
って…。

つぎ  
次は「おでんおんせんにいく」です。さつまあげ、たまご、ぱくだんのおでん家族が、温泉ランドに  
行くことになりました。おしるこの湯にラーメンの湯によせなべの湯…。温泉ランドは、不思議な  
お風呂がたくさん…。

さいご  
最後は、「あいうえおんせん」です。ようこそおいでくださいました。ここは空と海と緑に囲まれた  
静かな日帰り温泉でございます。かきくけこだわり空中温泉、たちつてとんでも探検温泉、まみむめも  
ういや迷路温泉など、不思議なお湯めぐりで、心ゆくまでごゆるりとお過ごしくくださいませ。



妖怪温泉  
広瀬 克也 作  
絵本館



おでんおんせんにいく  
中川 ひろたか 作  
長谷川 義史 絵  
佼成出版社



あいうえおんせん  
林 木林 作  
高島 那生  
くもん出版

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第128号 2019年2月

よ さむ えほん  
こたつで読もう寒い絵本

がつ か せつぶん まめ りっしゆん ひ はる ひ  
2月3日の節分は豆まき、2月4日は立春です。この日から春がはじまります、という日

はる な かぜ さむ はる なまえ か ゼ さむ かん そうしゆんふ  
です。春は名をみの風の寒さや(春とはいっても、名前だけでまだ風が寒く感じる『早春賦』)、

なかに さむ たの えほん よ  
まだまだこたつの中でぬくぬくと、寒さを楽しむ絵本を読むのがよさそうです。

さいしょは、「生き物たちの冬ごし図鑑昆虫」です。昆虫がどのように寒い冬をこし、命をつないでいくか、1年のライフサイクルと共に紹介する図鑑です。卵、幼虫、蛹、成虫など、どのステージで冬ごしするかを昆虫ごとに写真で解説しています。

つぎは「ゆきのなかのりんご」です。雪に閉ざされた真っ白な世界。食べ物を求めてさまようウサギは、木の上たったひとつの真っ赤なりんごを見つけます。りんごは高すぎて、とてもウサギには届きそうにありません。そこでウサギが思いついた名案は？

さいごは、「かまくらレストラン」です。ここはおばあさんのかまくらレストラン。雪の降る、冬のあいだだけ開いています。おばあさんのおしるこは、甘くておいしくて、ひとくち食べるとにっこり、ふたくちめにはほっぺたがおっこちて、全部食べたなら心も体もぽっかぽかになります。



生き物たちの冬ごし図鑑昆虫  
星 輝行 写真・文

汐文社

ゆきのなかのりんご  
フェリドゥン・オラル 文・絵  
ふしみ みさを 訳  
復刊ドットコム

かまくらレストラン  
真珠 まりこ 作・絵  
教育画劇

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第129号 2019年3月

もう春です

3月3日はひなまつり。おひなさまを飾って、ちらし寿司とはまぐりと菜の花のおすまし、

ひなあられ、ひしもちやさくらもち、うぐいすもちもいいですね。季節の行事は見て楽しみ、

食べて楽しめます。日の光もだんだん明るくなって、風もいい香りがしてきます。なんだ

かわくわくしてきますね。今月のテーマは「もう春です」。

最初は、「だって春だもん」です。そろそろかな、そろそろだね。オタマジヤクシもモモンガも、木や草の芽も、みんなが待っていた春が森にやってきました！ 雪におおわれた森に少しずつ春の気配があらわれる様子を伝える写真絵本。

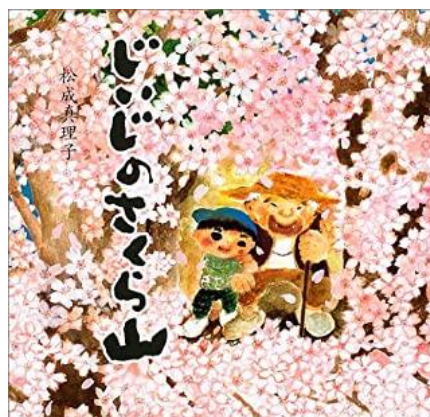
次は「じいじのさくら山」です。春になると、毎年きれいに花を咲かせる山ざくら。これは、そんな名もないさくら山をつくったじいじとその孫の、心あたたまるお話。

最後は、「木の実のけんか」です。おおきな桜の木の下で花見をはじめたタチバナたち。そのようすをみていたクリの実は、花見のじゃまをしようとして…。狂言の「このみあらそい」から生まれた、風流で、ていねいで、おかしい「けんか」のお話の絵本。



だって春だもん  
小寺 卓矢 写真・文

アリス館



じいじのさくら山  
松成 真理子 作

白泉社



木の実のけんか  
岩城 範枝 文

片山 健 絵

福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっしゅうぶんこうしん だい 130 号 2019 年 4 月  
 巡回学級文庫通信 第130号 2019年4月

## 「はじまりの日に」

4月のはじまりの季節です。河南町では、あたらしく「かなん桜小学校」が開校しました。5月からはあたらしい元号「令和」となり、あたらしい時代がはじまります。みなさんがあたらしい時代を、しっかり歩いていけるように願いをこめて、今年度も図書館から、いろいろな本を紹介していきたいと思えます。今月のテーマは「はじまりの日に」です。

最初は、「はじまりの日に」です。毎日がきみのはじまりの日に。きょうもあしたも、あたらしいきみのはじまりの日に。ボブ・ディランの半世紀の道をたどれる、名曲「フォーエバー・ヤング」の絵本。

次は「たくさんのドア」です。子どもたちの前にならぶ未来へのドア。あけるのが待ちきれないドア、すっとひらくドア、重たくてきしむドア。その向こうに広がっているのは…。新しい世界への扉をあけようとしているすべての人に贈る絵本。

最後は、「くものがっこう」です。くもの子どもたちは、くもの学校でいろいろな形になる練習をします。からだをぴったり寄せて作る「くもり空」になれたら卒業できるのですが、どうしてもどこかにすきまができてしまい…。



はじまりの日  
 ボブ・ディラン 作  
 ポール・ロジャース 絵  
 アーサー・ビナード 訳  
 岩崎書店

たくさんのドア  
 アリソン・マギー 文  
 ユ・テウン 絵  
 なかがわちひろ 訳  
 主婦の友社

くものがっこう  
 みらいなな 文  
 いけずみひろこ 絵  
 童話屋

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だい 131 号 2019 年 5 月  
巡回学級文庫通信 第131号 2019年5月

## 「植物のふしぎ」

しんりよく きせつ しんりよく がつ がつ わかば みどりいろ きぎ めぶ  
新緑の季節です。新緑とは、4月から5月ごろの若葉の緑色や、木々が芽吹くようす

をあらわした言葉です。なんだかおもいきり背伸びをして、深呼吸したくなる季節です。

とざん い ちかく きぎ みどりいろ は の  
登山やハイキングに行かなくても、近くの木々がきれいな緑色の葉を伸ばしています。

は かたち いろ こんげつ しょくぶつ  
葉っぱの形もいろいろ、色もいろいろ、今月のテーマは「植物のふしぎ」です。

さいしょ 「せかいの不思議な野菜」です。これって食べられるの？ UFOカボチャ、ズメナス、バナナ  
の花、舌がしびれる野菜、毒抜きする野菜など、世界中の珍しい野菜の姿や育ち方、味などのひみつ  
を紹介しします。

つぎ 「なぜ？の図鑑 植物」です。世界一大きい花はどのくらいの大きさ？ どんぐりって何？ メ  
ロンのあみ目もようはどうしてできるの？ 植物の「なぜ？」を迫力の写真とイラストで解説する図鑑。

さいご 「エディのやさいばたけ」です。庭に自分の畑をもらったエディ。土を耕して、種をまいて、  
水をあげて…。どんな野菜が実ったのかな？ ガーデニングの基本も学べて、野菜が身近になる絵本。



世界の不思議な野菜  
湯浅 浩史 作

誠文堂新光社

なぜ？の図鑑 植物  
芳賀 靖彦 編集

学研プラス

エディのやさいばたけ  
サラ・ガーランド 作

まき ふみえ 訳  
福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 132 号 2019 年 6 月  
 巡回学級文庫通信 第132号 2019年6月

## 「トマト」

なつ 夏がやってきました。なつ やさい 夏野菜といえば、なす・きゅうり・トマトなどなどなど。なつ やさい 夏野菜

は、からだ にこもった ねつ からだ なか 熱を 体の中からさましたり、なつ よぼう えいよう 夏バテ予防の栄養があつたりします。しゅん 旬

のものを しゅん じき た 旬の時期に食べることで、その時期に必要な じき ひつよう えいよう 栄養がとれるのです。こんげつ 今月のテーマ

は「トマト」ですが、そだ たの やさい トマトは育てても楽しい野菜です。ミニトマトは、プランターでも

てがる 手軽にできて、たくさん しゅうかく 収穫できるので、オススメ！

さいしょ は、「ナナコのキッチンガーデン」です。トマト、キュウリ、ナス、ピーマン…。おばあちゃんのキッチンガーデンを てつだう ことになったナナコが、やさい たね なえ から そだ て、じつ になって たべる までを たいけん えほん 体験する絵本。

つぎ は「くりちゃんとエーメさんのトマト」です。ハムスターのくりちゃんのおとなりさんは、ヤギのエーメさん。はたけ でとれた やさい 野菜をいつもわけてくれます。くりちゃんは、その やさい 野菜でおいしくてめずらしい料理をつくれます！

さいご は、「ぜったいたべないからね」です。チャーリーの妹・ローラには、きれいな たべもの 食べ物がたくさんあります。とくにトマトはだいきらい！ チャーリーは、なんとかしてローラに たべさせようとするのですが…。



ナナコのキッチンガーデン

はせがわ かこ 作

講談社



くりちゃんと  
エーメさんのトマト

どい かや 作

ポプラ社



ぜったいたべないからね

ローレン・チャイルド 作

木坂 涼 訳

フレーベル館

# 「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第133号 2019年9月

「まご」

2学期がはじまりました。夏休み、おじいちゃんやおばあちゃんに会いに行きましたか？

会えたらとてもうれしいですね。おじいちゃんおばあちゃんの一ばん好きなものは「まご」

です。目に入れても痛くないぐらいにね。会ったらいつだってうれしいし、会えなくても

いつも「まご」の幸せを祈っています。今月のテーマは「まご」です。

最初は、「ぼくのジィちゃん」です。運動会の応援に、田舎からやってきたジィちゃん。“テーシャツ”のすそをズボンに入れて、いつもにこにこ笑ってるだけのジィちゃんは、なんだかカッコ悪い。でも、ジィちゃんには、ぼくが知らない、すごい秘密があったんだ…。

次は「おじちゃんがおばけになったわけ」です。エリックはおじいちゃんが大好きでした。でももういません。いなくなったはずのおじいちゃんが、夜になって、エリックのところへやってきました。だけど、なんだかちょっとヘン…。

最後は、「おばあちゃんのことばのまほう」です。「早く起きなさい！」「ごはんを食べなさい！」おかあちゃんは「…しなさい」ばかり言う。ぼくいやなんだ。おばあちゃんに相談したら、ことばのまほうをかけてくれるって！



ぼくのジィちゃん

くすのきしげのり 作  
吉田 尚令 絵

佼成出版社



おじいちゃんがおばけになったわけ

オーカソン 文  
エリックソン 絵  
菱木 晃子 訳  
あすなろ書房



おばあちゃんのことばのまほう

漆原 智良 文  
西方 拓史 絵

アリス館

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがくつきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第134号 2019年10月

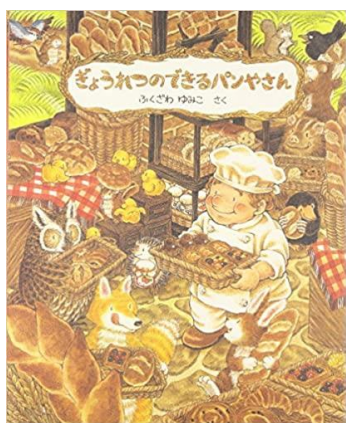
「パン」

あさ 朝ごはんはちゃんと食べてきましたか？朝ごはんを食べてこないと、なんとなく元気が  
でなかったり、勉強に集中できなかつたりします。おなかもグーグーなるしね。朝ごはんをきちんと食べてきても、4時間目になるとお腹がすいてきます。給食がたのしみです。今月のテーマはみんな大好き、あつあつ焼き立てパンを召し上がれ。

さいしょは、「ぎょうれつのできるパンやさん」です。ぐうぐう山にパンやさんが開店しましたが、山おこなのでお客さんはひとりもやってきません。においに誘われてやってきた動物たちにパンは大人気。みんなお礼に木の実やミルクをくれましたが、材料の小麦がなくなってきて…。

つぎは「おたからパン」です。「おたからパン」という、おいしいパン屋さんに忍び込んだどろぼう。でも、たからは見つかりません。そこへやってきた店の親方に、「たからがほしいなら、ここで働けばいい」と言われ、店で働くことに…。

さいごは、「ノラネコぐんだんパンこうじょう」です。ワンワンちゃんのパン工場には、おいしそうなパンがいっぱい。パンを作るところをのぞき見していたノラネコぐんだんは、夜中に工場に忍び込んで、見よう見まねでパンを作りはじめたけれど…。



ぎょうれつのできる  
パンやさん  
ふくざわゆみこ 作  
教育画劇



おたからパン  
真珠 まりこ 作  
ひさかたチャイルド



ノラネコぐんだん  
パンこうじょう  
工藤 ノリコ 作  
白泉社

# 「おまめちゃん」

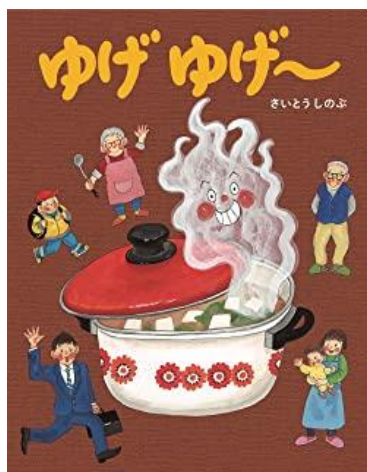
じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第135号 2019年11月

## 「食欲の秋」

あさばん さむ 朝晩が寒くなってきた、いよいよ秋本番です。はる たね 春に種をまき、あき か と 秋に刈り取る。はる はな 春に花が咲き、あき み 秋に実がなる。うみ ふゆ 海では冬にそなえて 脂 ののった さかな と 魚が獲れます。しき 四季のはっきりした、にほん ゆた み の 日本のお豊かな実りの秋をおなかいっぱい味わいましょう。こんげつ 今月のテーマはおなかぺこぺこ、「食欲の秋」です。

さいしょ は、「ゆげゆげ〜」です。あさご はんのみそ汁ゆげゆげ〜。たき たて ごはんもゆげゆげ〜。パン屋さんの焼きたてパンもゆげゆげ〜。きゅうしよく 給食もゆげゆげ〜。げんき 元気でもおいしい湯気たちが立ちのぼってきます。つぎ 次は「にぎやかなおでん」です。「畑にいたころがなつかしいなあー!」「いや〜、海のなかは最高でしたぜ!」…。だしぶろにつかったおでんたちの自慢合戦はエスカレートしていきー。あつたかくて 美味しくそうで、味わいいっぱいのユーモア絵本。

さいご は、「どんぶりん」です。げつようび 月曜日、どんぶりんは牛肉さんと玉ねぎちゃんとべにしょうがくんにあつて「ぎゅうどんぶりん」になりました。もくようび 木曜日、どんぶりんはうなぎのかばやきさんとこなざんしょうぐんにあひ…。かんたん 簡単にできて、おいしいどんぶりんがいっぱい!。



ゆげゆげ〜  
さいとうしのぶ 作  
教育画劇



にぎやかなおでん  
犬飼 由美恵 文  
出口 かずみ 絵  
教育画劇



どんぶりん  
新井 洋行 作  
アリス館

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがくきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第136号 2019年12月

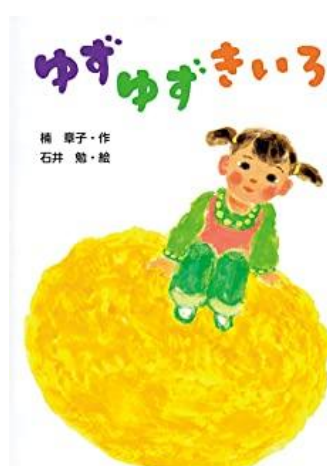
## 「冬じたく」

ふゆ 冬がやってきました。ちきゅうおんだんか えいきょう なつ あつ ふゆ きむ 地球温暖化の影響で、夏はすごく暑いですが、冬は寒くて、やっぱり冬は冬です。かぜ つめ ひ く はや 風が冷たく、日の暮れるのも早く、かぜをひきやすくなります。お肌もカサカサ。うがい手洗い、はやねはやお しょくじ ふゆ の き てあら はやねはやお 冬を乗り切りましょう。こんげつ のテーマは「冬じたく」です。

さいしょは、「生きものたちの冬ごし図鑑 植物」です。たいよう ひかり よわくなり、きおんがさがるふゆは、しょくぶつにとって試練の時です。さむい冬、植物たちはどのようにすごしているのでしょうか？冬にしか出会えない植物の姿を紹介します。

つぎは「ネルとマリのたからもの」です。ヤマネのネルはマリのまねをしてきれいな羽を集めていました。ですがとうみんの時期になってもやせっぽちのままだったことにきづいて、はねあつめをやめました。しかしマリは冬眠に備えず、きれいなものを集めることばかりしていて…。

さいごは、「ゆずゆずきいろ」です。いちねん いちばんよるなが とうじ ひ とれたてのゆずをお風呂にたくさん浮かべたら、あったかい魔法の始まりです…。親子で楽しめる冬至のゆず湯のおはなし。



生きものたちの冬ごし図鑑植物  
亀田 龍吉 写真／文

ネルとマリのたからもの  
亀岡 亜希子 作

ゆずゆずきいろ  
楠 章子 作

汐文社

PHP 研究所

石井 勉 絵  
ポプラ社

# 「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第137号 2020年1月

## 「ねずみどし」

明けましておめでとうございます。今年（ことし）はねずみ（どし）年（としよかん）ですね。図書館には、ねずみ（しゅじんこう）が主人公（がう）

の絵本（えほん）がたくさんあります。どの主人公（しゅじんこう）も、小さくて（ちい）弱い（よわ）けど、まじめ（い）に生きて（じんせい）、人生（じんせい）を

楽しく（たの）過ご（す）しています。そう（さ）りたい、という（い）作家（さつか）の祈（いの）りが込（こ）められている（よう）です。

最初（さいしょ）は、「ねずみ（ねずみ）のおよめ（およめ）さん」です。ねずみ（ねずみ）の夫婦（ふうふう）の娘（むすめ）は、とても（きりょう）器量（きりょう）よし（よし）でやさしい（こ）子（こ）。世界（せかい）一（いち）えらい（えらい）ものに（むこ）婿（むこ）になって（な）ほしい（ほしい）と思（おも）った（おとも）夫婦（ふうふう）は、おひさま（おひさま）、雲（くも）、風（かぜ）と（つぎつぎ）次々（つぎつぎ）に（ねが）お願い（ねが）して、最後（さいご）に（たどり）着（つ）いた（いた）のは…。

次（つぎ）は「ねずみ（ねずみ）のふわふわ（ふわふわ）けいと（けいと）」です。恥（は）ずかし（は）がり（は）や（は）で（はなし）話（はなし）をする（する）のが（にが）苦手（にが）な（にが）ねずみ（ねずみ）が、勇（ゆう）気（き）を出（だ）して、毛糸（けいと）屋（や）さん（あお）で（あお）青（あお）い（あお）毛糸（けいと）を（か）買（か）いました（か）。毛糸（けいと）は（けいと）ふわ（ふわ）ふわ（ふわ）で（きもち）気持（きもち）ち（ち）よ（よ）か（か）った（か）のですが、ほ（ほ）ど（ど）けて（ど）ぐ（ぐ）ちゃ（ちゃ）ぐ（ぐ）ちゃ（ちゃ）にな（な）って（な）って（な）って（な）って…。

最後（さいご）は、「とくべつ（とくべつ）ないち（ないち）にち（にち）」です。ドレ（ドレ）ス（ス）を（き）着（き）て、ネク（ネク）タイ（タイ）を（し）し（し）めて（めて）…。か（か）や（や）ね（ね）ず（ず）み（み）の（こ）子（こ）ども（ども）たち（たち）にと（と）って、今日（けふ）は（きょう）特別（とくべつ）な（にち）1（いち）日（にち）。1（いち）年（ねん）生（せい）にな（な）ると（と）お（お）城（しろ）の（しやうたい）パ（パ）ー（パ）ー（パ）ー（パ）ー（に）招（まね）待（たい）さ（さ）れる（れる）の（の）です。準（じゆん）備（び）で（おおいそが）大（だい）忙（まい）し（し）の（みな）皆（みな）の（いえ）家（か）を（のぞ）覗（ぞ）くと…。



ねずみのおよめさん  
小野 かおる 再話/画  
福音館書店



ねずみのふわふわけいと  
かさいまり 文/絵  
教育画劇



とくべつないちにち  
かさいまり 文/絵  
ひさかたチャイルド

# 「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だい 138 号 2020 年 2 月  
 巡回学級文庫通信 第138号 2020年2月

## 「この1冊を」

としょかん には、うえはしなほこ も びと おのふゆみ じゅうにこくき  
 図書館には、上橋菜穂子の「守り人」シリーズや、小野不由美の「十二国記」シリーズ

など、今はまだ読めないかもしれないけれど、いつかめぐりあってほしい本があります。

よ 読んだことにより、こころ なか ほうせき 1 つ できるような、みらい きぼう 未来への希望につながるような、

そんな本を手にとってほしいと思っています。まずはこの1冊から、読んでみてください。

最初は、「くまとやまねこ」です。突然、最愛の友だちのこつりを亡くしてしまった、くま。暗く閉め切った部屋に閉じこもっていたが、あるひやまねこと出会った。やまねこは、くまのためにバイオリンを弾いてくれて…。

次は「ありがとう、フォルカーせんせい」です。トリシャにとって、字は、くねくねしたかたちに見えるだけ。友だちに読めないことを笑われて、トリシャの苦しみは増すばかり。でも、新しい先生がやってきて、字が読めないトリシャに特別な練習を始めたのです。

最後は、「わたしはヴァネッサと歩く」です。ヴァネッサという女の子が転校してきた。いつもひとりぼっち。いじめる子までいる。このままでいいの？ ある朝、勇気を出してヴァネッサの家へと向かうと…。ひとりの子どもの小さな勇気を描いた、文章のない、絵を読む絵本。



くまとやまねこ  
 湯本 香樹実 文  
 酒井 駒子 絵  
 河出書房新社

ありがとう、フォルカーせんせい  
 パトリシア・ポラッコ 作・絵  
 香咲弥須子 訳  
 岩崎書店

わたしはヴァネッサと歩く  
 ケラスコエット 作・絵  
 岩崎書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう  
巡回学級文庫通信 第139号 2020年3月

「もうすぐ春ですね」

今年は全体を通して暖かい冬でしたが、少しずつ春が近づいてきています。つくしの

子はずかしげに顔を出したり♪、雪をはねてねこやなぎが顔を出したり♪、もうすぐ春で

すね。(^^♪キャンディーズ)。こんな歌を歌いたくなります。春は別れと出会いの季節で

す。さびしさと不安と期待を胸に、少しずつ前を向いて歩いていきましょう。

最初は、「はるのワンピースをつくりに」です。春のワンピースがほしくなったさきちゃんは、大ききも形もぴったりの服を作ってくれと評判のミコさんのお店にやってきました。ミコさんは「どんなワンピースがいいのかしら」といって、さきちゃんにいろいろ質問していき……。

次は「てんきのいい日はつくしとり」です。今日は、いいおてんき。ちょっとだけ冷たい春の風がふいています。ちえちゃんは、新しい赤いかごをもって、おばあちゃんとおにいちゃん、おねえちゃんと一緒につくしとりに出かけました。つくしはたくさん見つかるかな？

最後は、「おなべおなべにえたかな」です。気持ちのいい春の日。きつねのきつことイタチたちは、たんぽぽをいっぱいつんで、山向こうのおばあちゃんのところへ行きました。でかけたおばあちゃんのかわりにきつこたちがおなべの番です。さあ、おいしく煮えたかな。



はるのワンピースをつくりに  
石井 陸美 文  
布川 愛子 絵  
フロンズ新社

てんきのいい日はつくしとり  
石川えりこ 作・絵  
福音館書店

おなべおなべにえたかな  
こいでやすこ 作  
福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
巡回学級文庫通信 第140号 2020年5月

## 「ぼくはぼく、わたしはわたし」

食べたものが身体を作り、読んだ本がことばと心を育てます。美味しいものをいっぱい

食べて、楽しい本をいっぱい読んで、元気に大きくなりましょう！今月のテーマは「ぼくはぼく、わたしはわたし」です。

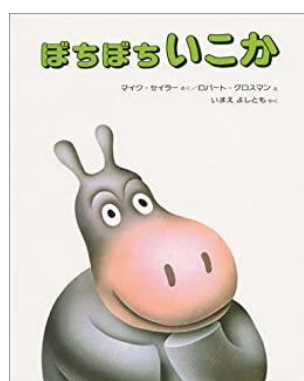
最初は、「ぼくだけのこと」です。家族の中でえくぼがあるのは、ぼくだけ。仲よし7人組でさかだち歩きができるのは、ぼくだけ。そして、世界中に「ぼく」という人間は、ぼくだけ。これってすごい！

次は「ぼちぼちいこか」です。のんびり、おっとりのカバくんがいろんな仕事に挑戦。「ぼく、消防士になれるやろか」でも「なれへんかったわ」「船乗りはどうやろか」と意気込んで「どうもこうもあらへん」「どないしたら ええのんやろ」と途方にくれたカバくんは、ここでちょっと一休み。

最後は、「ベンのトランペット」です。夜、ベンはジグザグ・ジャズ・クラブから聞こえるジャズに耳をすまします。そして、いっしょにトランペットを吹きます。でもベンはトランペットを持っていません。吹くまねをしているのです・・・。



ぼくだけのこと  
森 絵都 作  
スギヤマカナヨ 絵  
偕成社



ぼちぼちいこか  
マイク・セイラー 作  
ロバート・グロスマン 絵  
偕成社



ベンのトランペット  
R・イザドラ 作/絵  
谷川 俊太郎 訳  
あかね書房

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第141号 2020年6月

## 「好きなこと」

みなさん、ずっと学校に行けなくて、不安な日々を過ごしていたことと思います。早くもとおりの生活ができるといいですね。不安だったことも多かったと思いますが、自分の不安は自分で何とか背負いましょう。どうしたらいいかって？きちんと生活すること。

からだを動かすこと。好きなことをすること。きちんと強くなりましょう。

最初は、「うさぎのくれたバレエシューズ」です。バレエ教室に通い始めて5年もたつのに、その女の子は、おどりが上手になりませんでした。ねがいはたったひとつ「おどりが上手になりますように」とするとあるとき、ふしぎな小包が女の子のところに届いたのです。

次は「耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ」です。野球の審判のジェスチャーや、選手のサインプレーなど、それまでになかったことが試合でおこなわれるようになったのは、耳の聞こえないメジャーリーガー、ウィリアム・ホイの努力のおかげです。

最後は、「リンドバーグ」です。1912年のドイツ・ハンブルク。ネズミとりがこわくて逃げ出した仲間を追って、本好きの小ネズミがアメリカへ行くことを決意。設計図をかって、飛行機をつかって、空を飛んだ！



うさぎのくれた  
 バレエシューズ  
 安房 直子 文  
 南塚 直子 絵

小峰書店



耳の聞こえないメジャーリーガー  
 ウィリアム・ホイ  
 ナンシー・チャーニン 文  
 ジェス・ツヤ 絵  
 斉藤 洋 訳

光村教育図書



リンドバーグ  
 トーベン・クールマン 作  
 金原 瑞人 訳

フロンヌ新社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいかぎきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第142号 2020年7月

## 「お姫さま」

むかしばなし なか うつく ひめ ひめ はたら もの ひめ  
 昔話の中には、美しいお姫さま、おどるお姫さま、働き者のお姫さま、いじわるな

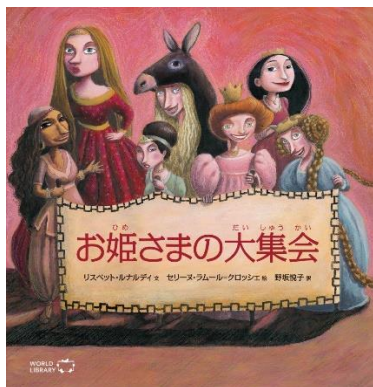
お姫さま、いろいろなお姫さまでいっぱいです。みなさんがよく知っているお話を、

あまり知られていないお話まで、今月はいきいきとした「お姫さま」の本を紹介し

最初は、「お姫さまの大集合」です。おとぎ話のお姫さまたちは怒っています。せつせと働いたり、いじわる魔法のいいなりになったり、とんでもないお相手のごきげんをとるのは、いつもお姫さまだから。もう、がまんできないわ！ お姫さまたちの主張が痛快な絵本。

次は「アリーテ姫の冒険」です。アリーテ姫は大金持ちの王さまの一人娘。とてもかしこく勉強家なので王さまは頭を抱えています。王さまの意見では、かしこい妻をを求める男など、この世にいるわけがない。女はやさしく、かわいいのがいいんだ。かしこくなんかないほうがいい！さてさてアリーテ姫は…

最後は、「とんでる姫と怪物ズグルンチ」です。やさしいけれど、こわいもの知らずの「とんでる姫」は、もうすぐすてきな王子と結婚します。ところが、王子が人の心を奪いとる怪物の退治に出かけ、逆に心をとられてしまう羽目に。さあ、とんでる姫の出番です！



お姫さまの大集合  
 クロッシェ 文  
 ルナルティ 絵  
 野坂 悦子 訳  
 ワールドライブラリー

アリーテ姫の冒険  
 ダイアナ・コールス 文  
 ロス・アスキス 絵  
 ウィメンズ・プレイス 訳  
 学陽書房

とんでる姫と怪物ズグルンチ  
 シルヴィア・ロンカーリア 作  
 エレーナ・テンポリン 絵  
 たかはし たかこ 訳  
 西村書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
巡回学級文庫通信 第143号 2020年8月

## 「絵本でおでかけ」

ことし なつやすみ みじかい ころなういるすかんせん い きぶん  
今年は夏休みは短いし、コロナウイルス感染もこわいし、どこかに行こう！という気分

にもならないから、家族で旅行やおでかけする人も少ないのではないのでしょうか。本を読む

たの し ゆた ものがたり せかいたび こんげつ えほん  
楽しみを知れば、豊かな物語の世界へと旅していただけます。今月は、まずは絵本で、おでか

きぶん あじ  
け気分を味わいましょう。

さいしょは、「まちにまったおでかけのひ」です。今日は、おでかけの日。ラッセルがブルを迎えにいくと、ブルはまだ準備ができていませんでした。また寝てしまったブルを待つあいだ、ラッセルは本を読むことに。ところが、ブルが起きて、ラッセルは本に夢中になって…

つぎは「ギョギョギョつり」です。小さなイワシをえさにして、釣りを始めたおじさん。いつの間にか、こっくりこっくり、いねむりを始めると、その間に、イワシより大きいアジが、アジより大きいタイが、次々に食いついてきて…

さいごは、「ふしぎなガーデン」です。使われなくなった鉄道の線路跡に、かれる寸前の草木を発見した少年リーアムは、草木をたすけようと世話をはじめます。やがて、草木は息をふきかえし、街はすくすく姿をかえ…。ニューヨークの鉄道跡で本当におきた物語。



まちにまったおでかけのひ  
東川 りえ 作

絵本館



ギョギョギョつり  
矢野 アケミ 作・絵

すずき出版



ふしぎなガーデン  
ピーター・フラウン 作  
千葉茂樹 訳  
フロンヌ新社

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第144号 2020年9月

## 「こわいのは」

あなたは何がこわいですか？おばけでしょうか、妖怪でしょうか。それとも宿題がこわい？こわい、という気持ちは、わからないからこわいことが多いですね。こわいものがない人っているのでしょうか。一番こわいものは人間か、あるいは自分の想像力かかもしれませんね。今月は、こわい絵本を集めてみました。

最初は、「たべてあげる」です。大嫌いなピーマンを誰か代わりに食べてくれないかなと、りょうたくんが思っていると、小さなりょうたくんが現れ、ぜんぶ食べてくれました。りょうたくんは大喜びでしたが、ちいさなりょうたくんは、きらいじゃないものまでどんどん食べてしまうようになりました。

次は「ちがうねん」です。大きなさかなから帽子を盗んだ、いっぴきのちいさなさかな。気づきこないと逃げていきます。しんと静かな海の中、ぐるぐるといろいろな思いが渦巻いて…。さて逃げ切れるでしょうか？

最後は、「ことりぞ」です。仏壇のある部屋。古いお堂。お地蔵さん。大きな木。壊れた家。人のいない夕暮れ。お面をつけた女の子が、黒猫といっしょに遊んでいます。なにかがいる気配がしますが…。



たべてあげる  
 ふくべあきひろ 文  
 おおのこうへい 絵

教育画劇



ちがうねん  
 ジョン・クラッセン 作  
 長谷川義史 訳

クレヨンハウス



ことりぞ  
 京極夏彦 作  
 山科理絵 絵

東雅夫 編  
 岩崎書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第145号 2020年10月

## 「おいもごろごろ」

おいもといえば、思いうかぶのはじゃがいも・さつまいも・ながいも・さといも。他にもあったっけ？ こんにやくはこんにやくいもから、タピオカはキャッサバといういもからできています。夏野菜のズイキはさといもの葉柄（葉を支える、茎のような部分のこと）

です。どれもいろんな料理ができて、おいしいものばかりですね。今月のテーマは、おいもがいっぱい「おいもごろごろ」です。

最初は、「いもがへんしん！」です。身近な食べものが、どんなふうに加えられて「へんしん」していくのかを、写真やイラストを用いて紹介。この本では、いもからできるポテトチップス、かたくり粉、こんにやく、とろろ、いもようかんなどを取り上げます。

次は「14ひきのやまいも」です。お父さん、お母さん。おじいさん、おばあさん。そして兄弟10ひき。ぼくらはみんなで14ひき家族。木の実見つけた。草の実見つけた。森の秋は、実りの秋。さあ、やまいもほりに出かけよう。

最後は、「せかいでさいしょのポテトチップス」です。料理自慢のクラムさんの店にやってきた、“こだわりや”のお客さんの注文は「ポテトだけ」。ホクホクのポテトを「分厚い」と言われて突き返されたクラムさんは、いたずら気分がわき起こり…。ポテトチップス誕生の物語。



すがたをかえる食べもの6  
 いもがへんしん！  
 香西 みどり 監修



14ひきのやまいも  
 いわむら かずお 作



せかいでさいしょの  
 ポテトチップス  
 アン・ルノー 文  
 フェリシタ・サラ 絵  
 千葉 茂樹 訳  
 BL出版

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっけいぶんこつうしん だい ごう がつ  
巡回学級文庫通信 第146号 2020年11月

## 「世界のむかしばなし」

世界中のどこの国の人も、むかしむかしからずっと楽しんできたもの、なーんだ？

それは「むかしばなし」です。あまり知らない、世界地図の中でしか名前を知らないよう

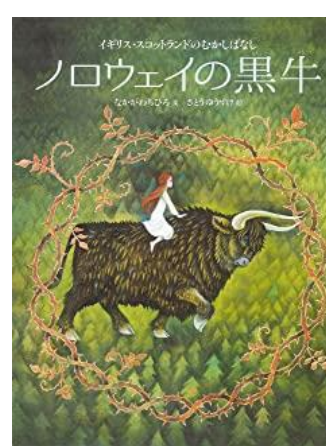
な国でも、その国の「むかしばなし」を読んだら、人たちがいきいきと暮らしていること

が想像できるでしょう。今月のテーマは、「世界のむかしばなし」です。

最初は、「ライオンとタカとアリになった男の子」です。ライオンにもタカにもアリにも変身できる力をもらった男の子。タカになりたいと望んだとたん、タカの姿に変わり…。ノルウェーに伝わる、不思議なむかしばなし。

次は「チンチラカと大男」です。仕事をさがしにでかけたチンチラカは、すぐに王さまにやとわれた。だが王さまはとんでもないことをいつけてきて…。ジョージアに伝わる、ダイナミックなむかしばなし。

最後は、「ノロウェイの黒牛」です。身の毛もよだつ怪物とされるノロウェイの黒牛と結婚してもいいというむすめ。むすめは黒牛にかけられた呪いを知り…。スコットランドに伝わるふしぎな恋のはなし。



### ライオンとタカと アリになった男の子

菱木 晃子 文  
MARUU 絵  
BL 出版

### チンチラカと大男

片山 ふえ 文  
スズキコージ 絵  
BL 出版

### ノロウェイの黒牛

なかがわちひろ 文  
さとうゆうすけ 絵  
BL 出版

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第147号 2020年12月

## 「クリスマス」

12月が近づくと、あちこちでわくわくするようなジングルベルが聞こえてきます。お店はキラキラ・ピカピカに飾られていきます。「クリスマス」はキリスト教のお祝いの日ですが、今の日本では、楽しい季節行事のようです。家族や友だちが、暖かく過ごせて、おいしいものを食べて、みんな幸せでありますように、という願いが込められているように思います。今月は、そんな暖かい「クリスマス」の本を紹介します。

最初は、「もりのおくのクリスマスツリー」です。ぼくは、いっぽんの木。ひとりぼっちになったぼくは、ぶるぶるふるえていた。夜の闇に向かって「だ、だ、だれがいる?」と呼びかけると…。森のいきものたちの声が聞こえてくるような、暖かなクリスマスのおはなし。

次は「クリスマス・イブのねがいごと」です。サンタさんのお手伝いをして、すてきなプレゼントをもらったネズミくん。でも、ほんとうの〈贈り物〉は、もっとステキなものでした。それは、ネズミくんがクリスマスツリーのお星さまに願ったことでした。

最後は、「ルーちゃんとクリスマスツリー」です。シロクマの女の子ルーちゃんは、お父さん、お母さん、お姉ちゃんの4人暮らし。やさしくて、なんでもできるお姉ちゃんのようにになりたいルーちゃんは「大きくなりたいです」と、サンタさんに手紙を書いてツリーにぶらさげ…。



もりのおくの  
 クリスマスツリー  
 ユーヴァル・ゾマー 作  
 石津 ちひろ 訳  
 ほるぷ出版



クリスマス・イブのねがいごと  
 トレーシー・コーデュロイ 文  
 サラ・マッシーニ 絵  
 服部 理佳 訳  
 岩崎書店



ルーちゃんと  
 クリスマスツリー  
 下村 明香 文  
 くわはらまい 絵  
 福音館書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
巡回学級文庫通信 第148号 2021年1月

「うふふと笑って」

あ 明けておめでとうございます。れいわ ねん 令和3年が始まりました。きよねん 去年はコロナ・コ  
ナでとても大変な1年でしたね。ことし とし 今年はいいい年になればいいですね。たいへん とき 大変な時でも、う  
ふふと笑ったり、クスツと笑ったりすると、すこ 少しホッとします。こんげつ 今月は、うふふと笑える  
ほん しょうかい 本を紹介します。

さいしょ は、「大阪うまいものうた」です。おおさか 大阪にはうまいもんがいっぱいあるんやで。たこ やき、ぎよ  
うざ、お好み焼き、ぶたまん。いか やき、ばつてら、あわおこし…。子どもたちのあいでひろ まった遊  
び歌をアレンジして、パワフルな絵とともにしょうかい 紹介します。

つぎ 次は「くしカツさんちはまんいんです」です。1本のくしカツが、みち ある 道を歩いているかと思ったら、く  
しカツの上には、やき とり 「ねぎ」や、きりたんぼ鍋の「たんぽ」や「みたらしだんご」がのっていた。  
それぞれのくしを探して、くしカツたちが歩いていると…。

さいご 最後は、「まひるのけっとう」です。こうや た 荒野に立つネイティブアメリカンとカウボーイ。けっとう はし 決闘が始まろう  
としたその時、とき 銃に一羽の鳥が…。こんなゆる～い決闘、今まであった？ えい が しゅほう と 映画の手法を取り入れた  
しんかんかくえほん 新感覚絵本。



大阪うまいものうた  
長谷川 義史 作

佼成出版社



くしカツさんちはまんいんです  
岡田 よしたか 作

PHP 研究所



まひるのけっとう  
マヌエル・マルソル 作  
中川 ひろたか 訳  
光村教育図書

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
 巡回学級文庫通信 第149号 2021年2月

## 「寒い季節のおくりもの」

やまないうめはない。あめはない。あけないうるはない。ふゆき はるとお ことば じぶん  
 やまない雨はない。あめはない。あけないうるはない。ふゆき はるとお ことば じぶん

はげ 励ましながら、寒い季節は一日一日を過ごしています。しよくぶつ さむ ふゆ はる  
 励ましながら、寒い季節は一日一日を過ごしています。しよくぶつ さむ ふゆ はる

めぶ 芽吹きを準備しています。さむ きせつ じっくりと 読書して、こころ なか ちい とも  
 芽吹きを準備しています。さむ きせつ じっくりと 読書して、こころ なか ちい とも

よななほん ような本と出会えるといいですね。こんげつ 今月のテーマは「寒い季節のおくりもの」です。

さいしょ は、ゆきはな です。「ゆきはな」がなくちゃ、クマくんは死んじゃうかもしれない。ぼくがきつと  
 さいしょ は、ゆきはな です。「ゆきはな」がなくちゃ、クマくんは死んじゃうかもしれない。ぼくがきつと  
 みつけてくる！高い熱で苦しむ、なかよしのクマくんのため、ハリネズミは森の奥へとかけだしていき  
 みつけてくる！高い熱で苦しむ、なかよしのクマくんのため、ハリネズミは森の奥へとかけだしていき  
 ました。どこにさいているのかだれもしらない、「ゆきはな」をさがしに・・・。

つぎはきた まじよ 次は「北の魔女ロウヒ」です。いたずら好きの魔女ロウヒが月と太陽を盗んで隠したため、せかいは  
 つぎはきた まじよ 次は「北の魔女ロウヒ」です。いたずら好きの魔女ロウヒが月と太陽を盗んで隠したため、せかいは  
 まっくらやみに。賢者ワイナモイネンがかじ屋をたずねて金の月と銀の太陽を作ってもらいますが…。

さいご は、ゆきじょうおう です。人の心を氷のように冷えさせるといふ悪魔の鏡によって、カいはなか  
 さいご は、ゆきじょうおう です。人の心を氷のように冷えさせるといふ悪魔の鏡によって、カいはなか  
 よしのゲルダのもとを去り、ゆきじょうおう とら 最後は「雪の女王」です。人の心を氷のように冷えさせるといふ悪魔の鏡によって、カいはなか  
 よしのゲルダのもとを去り、ゆきじょうおう とら 最後は「雪の女王」です。人の心を氷のように冷えさせるといふ悪魔の鏡によって、カいはなか  
 のお城へ出かけていきます。



雪の花  
 セルゲイ・コスロフ 原作  
 ファジェーエヴァ 絵  
 田中 友子 文  
 偕成社

北の魔女ロウヒ  
 トニ・テ・ゲレツ 原作  
 バーバラ・クーニー 絵  
 さくまゆみこ 訳  
 あすなろ書房

雪の女王  
 アンデルセン 原作  
 バーナネット 絵  
 ささきたづこ 訳  
 西村書店

# 「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう がつ  
巡回学級文庫通信 第150号 2021年3月

## 「春風吹いて」

こんげつ はるかぜ ふ てんきよほう はるいちばん ことば こよみ  
今月のテーマは「春風吹いて」です。天気予報で「春一番」という言葉があります。暦  
りっしゅん がつ にち しゅんぶん がつ か あいだ ひろはんい つよ ふ みなみ かぜ  
で立春（2月3日）から春分（3月20日）までの間に、広い範囲で強く吹く南よりの風の  
ことば ことば あたた ひざ つよ はる ふ  
ことです。「風光る」という言葉もあります。暖かくなり、日差しが強くなる春に、吹く  
かぜ かがや おも ようす かぜ いろ にお  
風も輝くように思われる様子をあらわします。風には色も匂いもありませんが、たしかに  
きせつ はこ おも  
季節を運んでくるように思います。

さいしょ はなみず おとこ こ わたげ おんな こ  
最初は、「かぜビューン」です。鼻水がたれてる男の子、たんぽぽの綿毛をとばそうとしてる女の子、  
たてがみがりっぱなライオン…。風がビューンと吹いたらどうなる？ しかけページをめくってみよう！ あ  
てっこあそび たの えほん  
てっこ遊びも楽しい絵本。

つぎ うみ はな うみ ふね  
次は「りすとかえるとかぜのうた」です。一度も旅にでたことがないけれど、「舟があれば、いっしょ  
に海までいけるね」と、いつも話していたりすとかえる。ある日、りすは、手に入れたばかりの舟にの  
って、かえるに会いにいきました。ところが…。

さいご きが はる のはら  
最後は、「うんめえめえし」です。ふたごのやぎ、あんちゃんともなちゃんは、いつも「うんめえ」食  
べものをさがしています。あたたかな風がふく春の野原で、ふたりが見つけたのは…。



かぜビューン  
ツペラツペラ 作  
学研プラス



りすとかえるとかぜのうた  
うえだまこと 作  
BL 出版



うんめえめえし  
おくはらゆめ 作  
ほるぷ出版